

R 4 年度 取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

タイトル	介護サービスの基盤整備及びサービスの質の向上
------	------------------------

現状と課題			
介護予防・日常生活支援総合事業は、本来備えてある要支援者自身の能力を最大限活かしながら、介護サービスと住民などが参画するような多様なサービスを総合的に組み合わせて提供しています。 「NPOや有償ボランティアなど住民主体による通所型サービスB」について、現在、要支援者等がより身近な所で利用できるよう、谷地、西里、北谷地、溝延の各地区単位に設置しています。			
第8期における具体的な取組			
通所型サービスB 平成30年度からは、多様なサービスとして、「NPOや有償ボランティアなど住民主体による通所型サービスB」を、要支援者及び介護予防・生活支援サービス事業対象者に対し提供しています。令和3年度からは溝延地区においての開設をしています。			
目標（事業内容、指標等）			
[目標値（見込み量）]		(単位：延人)	
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
通所型サービスB（利用延人数）	5,400	5,507	5,614
通所型サービスB（設置数）	4	4	4
目標の評価方法			
● 時点 ☐ 中間見直しあり ☒ 実績評価のみ ● 評価の方法 通所型サービスB事業所の利用延人数と設置数をカウントする。			

R 4 年度 取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

タイトル	高齢者の自立支援、重度化防止の促進～健康づくりと介護予防の推進～
------	----------------------------------

現状と課題
高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施 〔現状〕 高齢者の心身の多様な課題に対し、きめ細やかな支援を実施するため、後期高齢者の保健事業について、後期高齢者医療広域連合と市町村の連携内容を明示し、市町村において、介護保険の地域支援事業や国民健康保険の保健事業と一体的な取組みを、令和6年度までにすべての市町村にて実施することとなっています。
第8期における具体的な取組
令和4年度から保健師等の医療専門職を配置し、事業全体の企画、調整を図った上で、個別的支援や通いの場への集団的支援などの事業を開始していけるよう検討していきます。
目標（事業内容、指標等）
事業全体の企画、調整するための「保健師等の医療専門職の配置」、「KDBシステム（国保データベースシステム）を用いた、地域の健康課題整理、フレイルの恐れのある高齢者の抽出」、「個別的支援や通いの場への集団的支援」などの事業
目標の評価方法
● 時点 ☐ 中間見直しあり ☒ 実績評価のみ ● 評価の方法 令和4年度から保健師等の医療専門職を配置し、事業の企画、調整を実施後に具体的な事業を行い、評価していく。

R4年度 取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

タイトル	安心して暮らせる環境の整備
------	---------------

現状と課題

地域包括支援センターの充実

〔現状〕 総合的な相談窓口業務や介護予防マネジメント業務、包括的・継続的マネジメント支援業務、権利擁護業務の機能を持つ「地域包括支援センター☆」を平成21年度から河北町社会福祉協議会に業務を委託し、高齢者に関する医療や介護、福祉の身近な総合窓口・地域介護及び介護予防の拠点として、専門職種（保健師・社会福祉士・主任ケアマネジャー）が中心となり、高齢者やその家族を総合的に支援しています。

また平成30年度から、全国統一の評価指標により、全国値と比較することでセンターの業務量を町が把握し、これを町の地域包括支援センター運営協議会で評価・点検することが義務付けられ、平成29年度から30年度にかけて、総合相談が急増したことから、令和2年度に専門職種を1名増員し体制強化に努めています。

第8期における具体的な取組

地域包括ケアシステムを有効に機能させるためには、地域包括ケアの中核的な機能を担う地域包括支援センターが円滑に事業を運営していくことが大切です。今後もひとり暮らし高齢者、高齢者世帯の増加、家庭環境の変化などに伴い、総合相談延件数をはじめ、サービス計画延件数、権利擁護、高齢者虐待相談延件数が増加すると思われるため、さらに、介護・福祉・医療との関係機関と連携を図りながら、地域包括支援センターの充実に努めていきます。

目標（事業内容、指標等）

〔目標値（見込み量）〕 地域包括支援センター活動件数 （単位：件）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
総合相談延件数	1,644	1,656	1,668
権利擁護相談延件数	65	65	65
高齢者虐待相談延件数	70	70	70
介護予防サービス計画延件数	1,300	1,300	1,300
総合事業対象者サービス計画延件数	1,100	1,100	1,100
70歳以上ひとり暮らし訪問延件数	389	416	445

目標の評価方法

- 時点
 - ☐ 中間見直しあり
 - ☒ 実績評価のみ
- 評価の方法

総合相談延件数、権利擁護相談延件数、高齢者虐待相談延件数、介護予防サービス計画延件数、総合事業対象者サービス計画延件数、70歳以上ひとり暮らし訪問延件数をカウントする。

取組と目標に対する自己評価シート

年度	令和４年度
----	-------

前期（中間見直し）

実施内容
自己評価結果
課題と対応策

後期（実績評価）

実施内容									
■介護サービスの基盤整備とサービスの質の向上 「住民主体の多様なサービス・通所型サービスＢ」 令和３年より溝延地区に「なでしこ広場」（代表 石垣政之氏）を開設									
自己評価結果									
【◎】 計画通りに通所型サービスＢを各地区単位に設置したことで、４か所となった。 コロナ禍であったが工夫して活動を続け、目標値よりも利用延人数が多くなった。 <table border="1" style="margin: 10px auto; width: 80%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th></th><th>令和４年度目標値</th><th>令和４年度実績</th></tr> <tr> <td>通所型サービスＢ（利用延人数）</td><td style="text-align: center;">5,507</td><td style="text-align: center;">6,014</td></tr> <tr> <td>通所型サービスＢ（設置数）</td><td style="text-align: center;">4</td><td style="text-align: center;">4</td></tr> </table>		令和４年度目標値	令和４年度実績	通所型サービスＢ（利用延人数）	5,507	6,014	通所型サービスＢ（設置数）	4	4
	令和４年度目標値	令和４年度実績							
通所型サービスＢ（利用延人数）	5,507	6,014							
通所型サービスＢ（設置数）	4	4							
課題と対応策									
要支援程度の人が定期的に通うまでには「車での送迎」の関係もあり、自分で通える範囲の人に限られている。現在の車での送迎は、各実施団体の判断で行っている。全体的な取り組みといった面では、引き続き外出支援が課題と考える。									

取組と目標に対する自己評価シート

年度	令和４年度
----	-------

前期（中間見直し）

実施内容
自己評価結果
課題と対応策

後期（実績評価）

実施内容
■高齢者の自立支援、重度化防止の促進～健康づくりと介護予防の推進～ 「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」 令和４年度から保健師の医療専門職を配置し、個別的支援（低栄養等、重複・頻回受診者等、重症化予防等訪問指導）、集团的支援（通所型サービスＢ等通いの場への関与）を実施。
自己評価結果
【○】 計画通りに「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」を実施したため。 個別的支援は１０名に訪問指導（低栄養５名、重複・頻回受診３名、重症化予防２名）。 集团的指導は４か所の通所型サービスＢに、初回と２か月後に実施。計８回、実人数４７名、延人数８４名であった。
課題と対応策
令和４年度からの実施のため、令和５年度も同様の方法で実施して経年変化をみていき、事業内容や事業評価の指標を検討していく。

取組と目標に対する自己評価シート

年度	令和４年度
----	-------

前期（中間見直し）

実施内容
自己評価結果
課題と対応策

後期（実績評価）

実施内容																					
■安心して暮らせる環境の整備 「地域包括支援センターの充実」令和２年度に専門職員を１名増員し体制強化された。																					
自己評価結果																					
【○】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;"></th><th style="width: 30%;">令和４年度目標値</th><th style="width: 30%;">令和４年度実績</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合相談延件数</td><td style="text-align: center;">1,656</td><td style="text-align: center;">1,684</td></tr> <tr> <td>権利擁護相談延件数</td><td style="text-align: center;">65</td><td style="text-align: center;">46</td></tr> <tr> <td>高齢者虐待相談延件数</td><td style="text-align: center;">70</td><td style="text-align: center;">130</td></tr> <tr> <td>介護予防サービス計画延件数</td><td style="text-align: center;">1,300</td><td style="text-align: center;">1,133</td></tr> <tr> <td>総合事業対象者サービス計画延件数</td><td style="text-align: center;">1,100</td><td style="text-align: center;">1,032</td></tr> <tr> <td>70歳以上ひとり暮らし訪問延件数</td><td style="text-align: center;">416</td><td style="text-align: center;">475</td></tr> </tbody> </table> 目標値よりも件数が多くなったのが、総合相談延件数、高齢者虐待相談延件数、70歳以上ひとり暮らし訪問件数であり、事業の充実が図られた。		令和４年度目標値	令和４年度実績	総合相談延件数	1,656	1,684	権利擁護相談延件数	65	46	高齢者虐待相談延件数	70	130	介護予防サービス計画延件数	1,300	1,133	総合事業対象者サービス計画延件数	1,100	1,032	70歳以上ひとり暮らし訪問延件数	416	475
	令和４年度目標値	令和４年度実績																			
総合相談延件数	1,656	1,684																			
権利擁護相談延件数	65	46																			
高齢者虐待相談延件数	70	130																			
介護予防サービス計画延件数	1,300	1,133																			
総合事業対象者サービス計画延件数	1,100	1,032																			
70歳以上ひとり暮らし訪問延件数	416	475																			
課題と対応策																					
今後もひとり暮らし高齢者の増加や家庭環境の変化に伴い、相談件数の増加が見込まれる。各関係機関との連携を図りながらさらなる充実に努める。																					